

第 8 回

開 催 日 時	平成 30 年 10 月 18 日(木) 午後 6 時 30 分～7 時 30 分	
開 催 場 所	上高田小学校 ランチルーム	
出席者	委 員	関田光延、川野辺次男、樋口勇、渡邊由紀子、梅原裕之、磯貝依史真、須田麗和、齋藤竜、小野寺麗、井上政行、久保功、小野武、須藤江理、小池隆一、杉渕尚、幅健司、谷岡省三、高橋昭彦、石原千鶴 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校・地域連携担当
会 議 次 第	【議事】 1 校名の検討について 2 その他	

第 8 回 上高田小学校・新井小学校統合委員会 会 議 要 旨

1 開 会

委員長

定刻となったため、これより第8回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者がいるため、許可を諮りたい。

—異議なし—

委員長

傍聴者は、傍聴券の裏側に記述されている注意事項を守り、議事の進行を妨げないように願います。

議事に入る前に、本日の協議内容を説明したい。

統合新校の平成32年度4月の開校まで、残すところ1年半である。今後の協議事項には、校歌等、完成まである程度日数を要するものが控えている。開校から遡って逆算すれば、いつまでに校歌や校章デザインの制作を依頼しなければならないかが分かるが、校名を決定してから校章デザインが決まることを考えると、残された時間はあまり無いように思う。これまで、いつまでに何をしたら良いのかということ事務局から話してもらったことが無かったが、締め切りについて委員全員で共通認識を持った方が良いだろうと思い、今回事務局に説明を依頼した。したがって本日は事務局の出番が多くなるので、一つそれをご理解いただきたい。

2 議 事

議事(1) 校名の検討について

委員長

議事（１）校名の検討について、事務局の説明を求める。

■資料「校名募集の結果について2」、「(参考) 前回の協議で出た意見」を事務局より説明

事務局

資料「校名募集の結果について2」は、前回の協議で候補から外すことにした校名を外し、また同名の学校と会社の有無を調べた結果を掲載している。これらはインターネット検索で「明美学校」や「明美 会社」と打ち込んで出てきたものである。また資料「(参考) 前回の協議で出た意見」に前回の協議でいただいた意見を載せているので、参考にしてほしい。

協議に入る前に、校名に元号を選んだ場合のスケジュールについて説明する。基本的には開校のスケジュールに間に合うと考えている。ただし来年新元号になることで、校旗などの業者に注文が立て込んで例年よりも納期が遅れる可能性はある。元号を選ぶのであれば、万が一の場合に備えて予備の校名候補も選定するのが無難ではないかと思っている。

次に、資料「31 年度スケジュール」について説明する。4月に元号が発表された場合、当月中に臨時の統合委員会を開催して皆様の最終意思を確認し、校名を決定する。校章デザインを公募する場合は校名決定直後から約2週間募集し、6月から9月までで3回ほど統合委員会を開催して校章デザインを選定する。

事務局としては、集まる皆様の負担を考えると、臨時会ではなく他の会と併せて開催する方法が良いように思う。ただし、そうすると校名検討の回数が1回減り、次回12月の協議で校名を決定する必要がある。それでも過去の統合委員会の校名協議に要した回数と同じ回数分は確保できるが、皆様のご意見を伺いたい。

委員長

元号発表後の統合委員会について、他の回と併せて通常会として開催してはどうかと事務局から提案があったが、意見があれば挙手をお願いしたい。

特に無いようであれば、自分は、今予定している回数で校名が決めることが難しい場合は、統合委員会を1、2回増やすこともやむを得ないのではないかとと思っている。開催回数を増やさない方が良いという意見はあるか。

—異議なし—

委員長

では、今後予定通り校名が決まらないことがあれば、皆様に諮って回数を増やしたい。

次に、予備の校名を用意するかどうかを協議したい。校名を新元号にする場合、懸念事項がある。発表された元号がどのようなものであっても、時間の都合上、校名の変更が許されないというリスクである。そのため前回の協議では、予備の校名を用意するという提案を戴いた。一方で、予備案が校名決定前に外部に漏れた場合の影響を懸念する声も出ている。この問題について、皆様の考えを伺いたい。もし予備案を用意しないのであれば、どのような事態にも対応するという強い意志が必要になるだろう。

委員

新元号を校名に選ぶならば、予備の校名を用意してリスクを補完できる体制にする方が良いと思う。

委員

新元号は魅力的だが色々不安を伴うので、次の案も考えておくというのは良いと思う。ただし、次点やサブの校名という意識では、それに決定した場合に気持ちとして良くない。元号発表までは二つを最終候補として残しておき、元号発表後に決定すれば良いだろう。

委員長

では、今の二人の委員の話を総合し、二つの校名を最終候補とするという考え方にしたい。—

つは元号で、もう一つはこれから検討していく校名である。その二つを、新元号が発表された時点で比較して、最終的な校名を決定したいが、よろしいか。そうすれば、元号ではない方の校名が外部に漏れても、最終候補ということなので問題にならないと思う。

事務局

元号を校名候補に残すことは既に決まっているのか。

委員長

最終的にどちらの案にするかは皆様の総意で決まるので、そうした形にしたいと思う。

委員

そもそも、新元号案が最終候補の二つの中になぜ必須で入るのだろうか。自分はどちらかと言うと新元号案にあまり賛成ではない。どのようなものになるかも分からない元号の発表を待ち、その発表時期も定かではないというのは、不確定要素が多く、スケジュール的にリスク大だと思う。校名は本当に大事なものであるため、元号は確かに魅力的だが、我々のスケジュールが新元号の発表時期とマッチングしづらい状況であれば、他の候補から素敵な名前を選べば良いのではないだろうか。

委員長

前回の統合委員会で、元号が発表されてから最終判断したいという意見が多かったので、一つの案として今お話をさせていただいた。新元号が5月1日までに発表されるということは政府が決めており、日にちがそう動く話ではないと思う。5月の連休明け頃に統合委員会を開いて決定することになるだろう。

委員

新元号を候補に入れるということだが、新元号をそのまま校名にするのか、それとも例えば中野を付けるかという検討は、元号が発表されてからということか。

委員長

おっしゃるとおりである。

委員

また、元号から良い文字を抜き取った校名にする等、検討内容は色々あると思うが、それらも元号が発表されてからなのか。

委員長

元号発表後に、それら全てと候補に残した案とを比較して決定したい。後から他のものも絡んでくると話がまとまらなくなると思うので、1回で決める方法が一番良いのではないかと思う。

委員

それなら、元号そのままの校名にするのか、前に中野等を付けるのかということ事前に検討しておいた方が良いと思うが。

委員長

それについては、元号とその言葉の組み合わせの相性があるので難しいと思う。実際に組み合わせると、元号によって校名自体の印象が変わるだろう。そのため、他の言葉を付けるかどうかも含めて元号発表後に検討したいと思う。委員の皆様は、元号が発表されたら、校名するとしたら、頭に何か言葉を付けた方が良いのか、それともそのまま校名にした方が良いのかといった考えを持って統合委員会に臨んでいただきたい。

委員

我々と同じように、校名に新元号を使うことを考えている統合新校は都内にたくさんあると思う。他の学校と重ならない名前が良い。

委員長

以前事務局から受けた説明によると、平成32年度に都内で開校予定の統合新校はあまり無いようだった。

それでは、元号と並んでもう一つの候補にする校名の選定に入る。前回の意見も参考にしながら絞っていきたい。選考方法について意見はあるか。特に無いようであれば、事務局から提案が

ある。

事務局

前回と同様に、皆様が良いと思う校名を理由と共に順番に発表してもらい、意見を集約したい。本日は個数を絞りたいので、一人最大何個までと限定して発表してほしい。

委員長

事務局の提案方法に沿って一人最大3点まで絞りたいと思うが、よろしいか。  
—異議なし—

委員長

では、良いと思う校名とその理由について、順番に発言をお願いしたい。

委員

32番「桜」が良い。桜が中野通りを良く表していると思う。

委員

分かりやすいが平凡ではない校名が良いと思う。桜小学校はどうしても映画やドラマで使われやすく、ありがちな名前である。29番「桜美」も桜が含まれるが、響きに個性があるし、桜が美しいという意味が分かりやすいので良いと思う。また、13番「明虹」が明るい虹ということで明解ながらも、読み方に個性があり良いと思う。

委員

資料を見て、似た名前の学校や会社はこんなにあるのだなと思った。29番「桜美」は桜が付いているが、美しい桜があるこの地区を良く表しており良いと思う。

委員

学校が統合されて新しく出発するということから、14番「新元号」が良いと思っている。13番「明虹」も良い。

委員

13番「明虹」は響きが綺麗だし、小学生でも書ける漢字を使っている点が良い。あとは新校舎の位置が新井薬師に近いので24番「薬師さくら」も良いと思う。

委員

前は49番「中野さくら」を推した。あとは13番「明虹」も良い。虹という漢字はなかなか学校名に付かないと思うので、書いていて楽しい名前が良いと思った。

委員

13番「明虹」と14番「新元号」、あとは地元名物の桜との縁が切れないように、49番「中野さくら」が良い。

委員

前は「新井薬師」を推していたが、駅名そのままだし、宗教的な意味合いが含まれるのではないかという意見があったので、24番「薬師さくら」が良い。あと13番「明虹」が、虹が一本の懸け橋になるようなイメージが連想されて、とても良いと思う。

委員

「育鵬社」という教科書会社があるということを知らなかったが、何の教科の専門なのか。

委員

育鵬社は比較的新しい教科書会社で、歴史、社会の専門である。かなり右寄りの内容で、一部東京都でも採用した自治体もあるが非常に批判的な人も多く、教育界では有名である。

委員

自分は「育鵬」という言葉自体にそういった意味は全く込めておらず、説明文のように人材育成の高い目標を掲げるという意味で推した。しかし、世間にそうした抵抗感があるとすれば、一考を要するだろう。また、元号を入れる場合は、元号を採用するのだから、中野〇〇ではなく、短く元号そのものが良いと思う。

委員

地域がすぐ分かるという意味で、37番「さくら並木」38番「さくらなみき」が良いと思う。あとは48番「中野桜」、49番「中野さくら」が良いと思う。

委員

三つ発言したい。一つ目は、4番「育鵬」の鵬という漢字についてである。これがもし鳳凰の鳳であれば、漢字に雌雄の区別があるため男子校のようなニュアンスになってしまいそうだが、鵬はその区別がなく、さらに将来羽ばたくという意味が込められているので良いと思っていた。しかし件の教科書会社と同じ名前になってしまうので、少し頭を悩ませている。二つ目は、15番「中野（新元号）」が良い。新元号のスタートの翌年に中野の地で開校するので、中野と新元号の組み合わせが良いと思う。三つ目は、28番「梅の光」である。学校名は本当に大切だし、地域の方の思いが反映された学校名であってほしい。両校の校名は、これまで何十年も地域の思いを継いで続いてきたものだが、説明欄に地域への敬意を表したと記載されているので、これが良いと思った。

委員

14番「新元号」が魅力的だと思う。理想や思いは人それぞれ感じ方が違うので、あまりそういったことを強く入れない方が良いと思う。個人的には、地名や元号のような客観的な言葉の方が好きである。特に元号には、おそらく初めて校名に使う学校になるであろうというオリジナル性と、新元号に変わった翌年に開校するという魅力がある。公立の小学校にも明治小学校、大正小学校、昭和小学校、平成小学校があり、慶応義塾大学の校名は慶應年間に、明治大学も明治時代に由来する。このように、創設された時代を大事にする学校は昔から多い。

もう一つ良いと思うのは桜に関係した名前である。白桜小学校が近くにあるという話も出たが、この地域も桜のイメージが強い。しかし、桜小学校は都内にいくつかあるので、37番、38番「さくら並木」のように桜と他の言葉を組み合わせた校名が良いと思う。

委員長

漢字・かな表記の違いをカウントせず挙げる。象徴的で分かりやすいので、37番「さくら並木」38番「さくらなみき」が良い。あとは、14番「新元号」、13番「明虹」が良い。漢字が分かりやすいし、上高田と新井に架かる明るい虹という意味で、地域の思いを大切にしている点が良い。

委員

14番「新元号」、残りは15番「中野新元号」、49番「中野さくら」が良い。

委員長

今名前が挙がったのは、4番「育鵬」、13番「明虹」、14番「【新元号】」、15番「中野【新元号】」、24番「薬師さくら」、28番「梅の光」、29番「桜美」、32番「桜」、37番「さくら並木」、38番「さくらなみき」、48番「中野桜」、49番「中野さくら」である。これらに絞られたので、今まで名前が挙がらなかったものは候補から外してよろしいか。

—異議なし—

委員長

今回は、今名前が挙がったこれらの候補について、協議をしていきたい。

## 議事（2）その他

委員長

本日の議題は全て終了したが、今後のスケジュールについて、事務局から説明がある。

事務局

資料3「31年度スケジュール」をご覧ください。今後詳細を詰める物品の納品までのスケジュールを載せている。今後変更が生じる可能性もあるので、大体の目安として捉えてほしい。

校歌については、公募するのであれば校章デザインの募集と同時期に募集をし、6月ごろに校歌の制作者に制作依頼し、12月ごろの納品を予定している。刺繍校旗については、9月の統合委

員会で校章決定後、9月から10月に業者と契約し、1月末頃に納品予定である。学校指定品については、11月ごろ契約依頼をし、3月ごろに納品の予定である。

委員長

では続いて、次回の協議内容と校歌制作者の推薦依頼について、事務局から説明がある。

事務局

次回以降、校名の他に通学帽子、体操服等の学校指定品について協議したいと考えている。また、少し先の話になるが、校歌の制作について、作詞または作曲をぜひこの方に依頼したいという方が周りにいれば、事務局までご連絡いただきたい。

委員長

今の説明について、質問・意見はあるか。

委員

校歌の制作者には、制作費のような支払いはあるのか。

事務局

予算をつけている。

委員

学校指定品が開校直前の3月に納品予定となっているが、サイズ調査や、販売店で初めて購入する新入生への案内に要する期間を考えると、1月頃に納品できる状態にしておいた方が良いのではないか。

事務局

学校指定品については、新入生は購入するが、在校生には配布するので、3月納品にしている。新入生の購入についてはこちらには記載していない。

委員

校歌の歌詞募集は、一般住民から募集をするのか。

事務局

募集をするかどうかは、各統合委員会で協議して決定する。過去の統合委員会では、地域で校歌に入れたい言葉・フレーズを募集し、それを集めて作詞者に渡している。

委員

過去の統合新校では、どのように校歌の制作を進めたのか。統合委員会で歌詞を募集してプロに作曲してもらうのか、それとも歌詞の制作から全てお願いするのか。

事務局

作詞・作曲ともプロに依頼するが、作詞家には歌詞に入れたい言葉・フレーズの募集結果を渡す。ただし、それを使うかどうかは作詞家にお任せしており、通常、統合委員会は制作に関与しない。

委員

依頼する相手については統合委員会で検討するのか。また、校歌制作の専門家はいるのか。制作者の年齢によって、重厚感のある校歌になったり、ポップ調の斬新なものになったりと、仕上がりが変わるだろう。子どもにも地域の年配の方にも受け入れられる校歌を制作するのは、とても難しいだろう。

委員

上高田小学校の現在の校歌は、自分が在籍していた6年間のうちに新しくなったものである。「上高田高く光れ」という歌詞とリズムは、子ども心にも斬新に感じた。歴史ある学校の校歌の制作には、色々と難しい部分があるだろう。

事務局

確かに各人の好みが違うので難しいだろう。作詞の方から入るパターンが多い。直近の統合新校である中野第一小学校では、地域の方から作曲者を6人推薦いただいた。その中で過去に校歌の制作経験があるかどうかを加味しながら事務局が打診をして、結果として沢田完さんになり、さらに沢田さんから松井五郎さんという作詞家を迎った。

地域のことを大切に制作してくれる方に依頼するのが一番良いと思うので、まずは皆様やお知り合いの方のご縁で作詞または作曲をお願いできそうな方がいないかを教えていただきたい。その中で事務局が打診をして、その様子を統合委員会に伝えながら選んでいく形が良いと思う。中野第一小学校はその流れで両者に落ち着いた。まずは縁を辿る方法になるので、ぜひ推薦していただき、皆様のご意見を戴きながら我々も協力して進めていきたい。

委員

縁がある人がいればそれに越したことは無いが、全くいないような場合はどうすれば良いのか。

委員長

そういう業界人と縁のある方は少ないと思うので、事務局の方で何人かに見当を付けて案を出してもらい、統合委員会で検討してそのリストに付け加えていく方法が良い気がする。

事務局

我々も過去の統合校の時に依頼した作詞・作曲家にお願いできないか探すが、まずはご縁のあるところから推薦をしていただく方が良いと思っている。

委員

ギャラはいくらなのか。

事務局

作詞・作曲それぞれ80万円ずつである。プロの世界では安い。それだけに、縁を辿ってお願いし、地域のことを良く理解した方にご協力いただくことになる。

委員

ほぼボランティアのような金額なので、モチベーションを持った人に依頼することになるのだろう。

委員

自分たちも、PTAで講演会を依頼する時は、予算が限られているので相場よりも安い金額でお願いしている。

事務局

それも期限を設けて作ってもらうというご無理をお願いするので、縁を辿って、ボランティア精神を持ち、作った歌が地域ですっと歌い継がれるということに意義を感じてくれる方をお願いするのが良いかと思う。

委員

自分の作った歌を何十年も歌ってもらえるのは魅力的だと思う。

委員長

その他に何かあるか。ないようであれば、次回開催日について、事務局の報告を求める。

事務局

次回は12月10日月曜日18時30分から、新井小学校の図書室をお借りしたい。

委員長

時期が近づいたら、開催通知を事務局から送付する。本日の統合委員会はこれをもって終了する。